

## 令和5年度別府市人権教育学級 第6回学習会

日時：令和5年11月 9日(木) 10:00~11:50

場所：別府市役所 5F 大会議室

テーマ：さまざまな人権 別府的ヶ濱焼払い事件・真相

講師：大分県教育文化総合研究所 講師団

大畑 貞治 さん

### 講演概要

#### プロフィール

・別府市内の中学校に数学の教員として勤務。定年退職ののち、大分県教育文化総合研究所の所長・講師団として人権啓発に力を注ぐ。特に、「別府的ヶ濱焼払い事件」を自身のライフワークと位置付け、精力的に講演活動に取り組んでいる。



<講師の大畑貞治さん>

#### 1 はじめに

○「別府的ヶ濱焼払い事件」を知っている人が少ない。興味・関心をもっていただきたい。

#### 2 「差別」について

○あなたは「私は差別をしていません。」と言えますか。

人間は潜在的に差別心をもっていて、何かのきっかけでタガが外れた時に差別する。

#### 3 解放の詩人、江口いとさんの詩 「受けて立つ差別」「招かれなかったお誕生会」「人の値うち」

これらの詩、作者である「江口いと」さん、「橋のない川」の作者「住井すゑ」さん等についてネットで検索してほしい。そして、部落差別問題を学び、興味・関心をもってほしい。

#### 4 「政治=生活」に関心をもつ大切さ

○私たちの生活はすべて政治と結びついている。政治に興味・関心をもってほしい。

#### 5 その時、事件は起きた！ 別府的ヶ濱焼払い事件 1922（大正11）年3月25日~26日

全国水平社が創立されてから1ヵ月たらずの1922（大正11）年の3月25日、別府警察署が、別府的ヶ濱に住む被差別民衆の小屋を焼き払った事件。焼かれた家20戸あまり、60余名が焼け出された。

出典「おおいたの部落問題学習」

#### 6 終わりに

○何が真実なのか勉強しないと分からない。当時、的ヶ濱で何があったのか正しく理解し、差別を許さないという認識をもってほしい。そして、学んでいってほしい。

#### ◇グループ対話



自己紹介から始まり、感想や学んだこと、今後の活かし方など、各グループとも活発な話し合いが行われました。

〈グループからの声〉

・うちのグループは、4人ともだれもこの事件のことを知らなかった。こんなことがあったんだと知ることができてよかった。

・子どもに引き継いでいきたい。

#### ◇学習会を終えて

学習会後のアンケートでは、「大変勉強になった」「初めて知って驚いた」「自分のこととして考えていきたい」「自分の差別心を問い直した」「もっと地元のことを勉強したい」など、別府で起きた差別事件として驚きとともに「もっと学習したい」という感想が多く寄せられました。アンケートの結果については、今後活かしていきます。